

令和4年度・地域防災訓練全体振り返り

最も役に立った・印象に残った訓練項目とその理由（上位3項目）

作成 防災委員長 仲村結衣

1年生

1年生は、学年全体で訓練に参加した。訓練項目は、起震車体験、煙体験、ロープ結索訓練、通報訓練、AED訓練、担架搬送訓練、食事配給訓練の7項目であった。（アンケートには、防災委員の14人が回答）

1位：起震車体験（5人）

- ・実際に体験することで、防災意識が高まった。
- ・普段なかなかできないことであり、訓練によって吐嗟の判断ができるようになると思った。

2位：ロープ結索訓練（3人）

- ・最も汎用性が高いと思った。
- ・日常生活だけでなく、物資に限られる避難先で役立つと思った。

3位：AED訓練（2人）

- ・一度体験したことで、実際に人が倒れても冷静に対処できると思った。

3位：煙体験（2人）

- ・消防士から、煙の危険性について詳しく教えてもらうことができた。

2年生

2年生は、防災委員のみが訓練に参加した。訓練項目は、物資搬送訓練、バーナー着火訓練、間仕切り設置訓練、災害用トイレ組立訓練、クロスロードの5項目であった。（アンケートには、12人が回答）

1位：災害用トイレ組立訓練（6人）

- ・他の訓練とは違い、組み立てるのが複雑かつ力を必要としたので、一度経験しておくことに大きな意味を感じた。
- ・組立てに参加者全員の協力・連携が求められたので、印象的であった。

2位：クロスロード（3人）

- ・災害に直面した時に、どのような対応ができるのか真剣に考える機会となった。
- ・災害時の行動について、深く考えさせられた。

3位：物資搬送訓練（1人）

3位：バーナー着火訓練（1人）

3位：間仕切り設置訓練（1人）

感想、反省、改善点等

- ・1年生の担任が不在の中、防災委員としてリードすることができた。
- ・起震車が来ていることで、食事配給訓練の時間にやや遅れてしまった。
- ・時間に余裕があるものとそうでないものの差が大きかった。
- ・みんな興味深そうにしているものが多かったので、良い体験であった。

- ・時間が余るものが多かったが、片付けまで含めれば、適切な時間配分であった。
- ・災害用トイレの設置にかかる時間に少し余裕がなかった。
- ・災害が起きてしまうと、大変なことをしなければならないことを痛感した。

委員長・副委員長から

- ・1年生、2年生ともに、時間配分については適切であったという意見が多く、委員全員がリーダーシップを発揮できていたように思う。特に1年生は、先生から指示がないにもかかわらず、自主的に次の行動を考え、学年全体をリードできていて、有意義な避難訓練であったと感じた。（委員長）
- ・コロナ禍が明けて初めての地域防災訓練であったが、委員全員が臨機応変に行動できていたと思う。訓練後の反省もしっかり行っていて、次の訓練にも活かすことができると感じた。（副委員長）